

1. 学会関連情報

○吉田会長の挨拶を掲載いたしました(7月9日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=7>

○第3回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会のご案内

発表申込締切:8月6日 17:00

<http://www.2021kanazawa.jrsm.jp/>

○国際対応委員会 国際放射線防護学会 (IRPA) ニュースレターNo.29 を翻訳・公開

IRPA のニュースレターである IRPA Bulletin の邦訳版を作成し、IRPA のホームページに公開
されました。(6月29日)

<https://www.irpa.net/page.asp?id=54592>

○人文・社会科学的視点から考察する自然起源放射性物質含有廃棄物の取扱い専門研究会の
第6回会合開催案内

日時:2021年7月29日(木) 13:30-16:30

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=266>

○RI 施設における放射線管理を目的とした測定の信頼性確保に関する専門研究会 第2回会
合のお知らせ

日時:8/5(木) 13:00~(オンライン開催)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=268>

○放射線防護を理解するための Webinar 第1回のご案内

日時:7月30日(金) 16時から17時半

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=269>

2. 関連する研究情報

論文紹介

○Health Phys. 2021 Aug 1;121(2):133-149

Estimation of the Early Cs-137 Intake of Evacuees from Areas Affected by the 2011
Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident Based on Personal Behavioral Data

and the Latest Atmospheric Transport and Dispersion Model Simulation

浪江町住民の WBC 測定で観測された体内残留セシウム量を避難の状況で分析すると、2011 年 3 月 12 日に避難した時間帯によって大きく異なることが明らかになっている。そこで、本研究は、成人と 15 歳 (13-17 歳) の被験者 356 名を対象に、避難者の個人行動データと最新の大気輸送・拡散モデル (ATDM) のシミュレーションを組み合わせ、被ばく状況を再現し、この事実を検証した。その結果、これまでの知見が裏付けられた。しかし、この方法で算出された残留セシウム-137 の体内含有量は、被験者の WBC 測定値の 10%~20% に過ぎなかった。

K Eunjoo, et al.

https://journals.lww.com/health-physics/Fulltext/2021/08000/Estimation_of_the_Early-Cs_137_Intake_of_Evacuees.7.aspx

○Radiat Res (2021) 196 (1): 74–99.

本研究は、欧州 9 カ国で CT 検査を受けた約 100 万人の小児、青年、若年成人からなる EPI-CT 研究のコホートの臓器線量を推定した。CT 装置の設定に関するデータは、国の調査、アンケートデータ、および 437,249 件の CT スキャンの DICOM ヘッダーから得た。1990 年代前半には、頭部 CT から脳が受ける線量は比較的高く、個人の平均線量は 1 スキャンあたり最大 66mGy、1990 年代後半から最適化により、特に若年層において、時間の経過とともに全体的に線量が減少している。胸部 CT では、1991 年以前には 15mGy を超えていた骨髄線量が、2001 年以降は 1 スキャンあたり約 5mGy まで低下した。今回の結果は、疫学調査における放射線誘発リスクの推定に利用する線量推定値を提供するものである。

Dose Estimation for the European Epidemiological Study on Pediatric Computed Tomography (EPI-CT)

Isabelle Thierry-Chef, et al.

<https://meridian.allenpress.com/radiation-research/article/196/1/74/464694/Dose-Estimation-for-the-European-Epidemiological>

○J Radiol Prot. 2021 Jun 1;41(2).

Korean-specific biokinetic model for iodine in radiological protection

安定ヨウ素摂取量の多い韓国人 (1100-6600 $\mu\text{g}/\text{day}$) について、安定ヨウ素の摂取量に依存する放射性ヨウ素の ICRP の体内動態モデルを拡張した。ICRP 基準モデルと比較して、韓国モデルでの速度定数は、ホルモン分泌は ICRP の値と同程度であるが、甲状腺への取り込みが顕著に低く、甲状腺のヨウ素の減少が早いことが予測された。

Tae-Eun Kwon, et al.

<https://iopscience.iop.org/article/10.1088/1361-6498/abd842>

○Br. J Radiol. 2021 Jun 23;20210477. Online ahead of print.

本レビューは、放射線画像の再撮影とそれに伴う患者の累積線量に関する現在の知見をまとめている。最近の保守的な推定では、がんのリスクを高める証拠がある 100mSv 以上の放射線量を累積する患者は、世界で約 90 万人とされている。そのうち約 5 人に 1 人は 50 歳以下と推定されている。放射線防護の枠組みは、再撮影や個人の高線量という課題に対応する必要があり、放射線防護の視点は臨床の視点を補完するものである。

Radiation protection perspective to recurrent medical imaging: what is known and what more is needed?

Jenia Vassileva, et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34161167/>

3. ニュースや社会の動き

○日本学術会議の活動と運営に関するご連絡 (6月25日)

<http://www.sej.go.jp/ja/member/iinkai/kanji/kisyakaiken.html>

○日本アイソトープ協会 2022年日本アイソトープ協会奨励賞 候補者募集開始(7月1日-10月29日)

<https://www.jrias.or.jp/report/cat1/309.html>

○日本アイソトープ協会 令和3年度放射線安全取扱部会年次大会のお知らせ(対面⇒Web開催への変更)

https://www.jrias.or.jp/annual_meeting/index.html

○原子力規制庁 中深度処分の廃棄物埋設地に関する審査ガイド案に対する科学的・技術的意見の募集について(7月1日-7月30日)

https://www.nsr.go.jp/procedure/public_comment/20210701_02.html

○原子力規制庁 第二種廃棄物埋設及びクリアランスに係る規則等の改正案に対する意見募集について(7月1日-7月30日)

https://www.nsr.go.jp/procedure/public_comment/20210701_01.html

○原子力規制庁 中国電力株式会社島根原子力発電所2号炉の発電用原子炉設置変更許可申請書に関する審査書案に対する科学的・技術的意見の募集について(6月24日-7月23日)

https://www.nsr.go.jp/procedure/public_comment/20210624_02.html

○QST 次世代放射光施設整備開発センターの主たる活動拠点を仙台に移転

<https://www.qst.go.jp/site/3gev/46500.html>

○IAEA Register for the IAEA Conference to Further Strengthen Nuclear Safety

<https://www.iaea.org/newscenter/news/register-for-the-iaea-conference-to-further-strengthen-nuclear-safety>

○ICRP 主委員会が名誉会員を発表(5月17日)

<https://icrp.org/page.asp?id=498>

○放射線教育支援サイトらでい、放射線教材コンテストのご案内

<https://www.radi-edu.jp/contest>

○令和3年度「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」国際協力型廃炉研究プログラム(日露原子力共同研究)の募集(締切:8月18日)

<https://www.kenkyu.jp/nuclear/application/index.html>

4. これからのイベント

○IAEA, Environet Webinar - Holistic Approach to NORM Management (Thursday, July 15, 2021 2:00 pm, Europe Summer Time (Berlin, GMT+02:00))

<https://iaea.webex.com/iaea/onstage/g.php?MTID=e394b96787bae40d5a807c5d6de0586d7>

○米国 Radiation Research Society が AOP に関する Webinar (7月16日午前1:00(日本時間))

<https://www.radres.org/events/EventDetails.aspx?id=1532153>

○日本放射線影響学会・若手部会 放射線影響研究会「がんと細胞周期制御」(令和3年8月28日、オンライン開催、参加・発表申込締切:7月31日)

<https://jrrs-sym.wixsite.com/wakate/ourmeeting-2021>

○放射線防護アカデミア代表者会議、放射線防護を理解するための Webinar シリーズ 第1回目「国際的機関で活躍するためには」(令和3年8月28日、オンライン開催)

<http://www.umbrella-rp.jp/ref.php>

○RICOMET RadoNorm 1st Annual meeting 2021 web、無料開催(9月6,7日)

https://app.azavista.com/w/event/609b045353325a0012b9b2f9/?page_id=609b045b567d5706bc089aff

○第13回 HOPE ミーティング:アジア・太平洋・アフリカ地域の博士課程学生及び若手研究者が、ノーベル賞受賞者をはじめとする著名研究者や同年代の研究者と交流する合宿形式の会議
2022年3月7日-3月11日(申請締切 2021年8月20日)

<https://www.jsps.go.jp/hope/boshu.html>

○リンダウ・ノーベル賞受賞者会議:ドイツ南部のリンダウ市において、ノーベル賞受賞者が世界各地から集った博士課程学生及び若手研究者に対して講演やディスカッション等を行う国際会議
2022年6月26日~7月1日(申請締切 2021年8月6日)

https://www.jsps.go.jp/j-lindau/shinsei_boshu.html

○未来博士3分間コンペティション2021(博士課程学生向け研究紹介コンペティション)

https://hiraku.hiroshima-u.ac.jp/event/competition_2021/

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○原子力規制委員会、原子力規制委員会研究職員(技術研究・調査(放射線防護関係))の公募、令和3年7月1日

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/kenkyu_keiken.html

○原子力規制委員会、原子力規制委員会行政職員(放射線による障害の防止又は放射線防護)の公募、令和3年7月1日

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/koubo_tech_02.html

○アイソトープ協会 キャリア採用(技術系)(事務系)正職員 随時受付中

<https://www.jrias.or.jp/association/cat10/117.html>

○京都大学 複合原子力科学研究所 助教 常勤(任期7年 再任なし)

2021年08月19日 必着

<https://www.rr.i.kyoto-u.ac.jp/job>

○千葉大学 助教の公募【分子画像薬品学研究室】常勤(任期あり)任期5年(再任可)

2021年09月17日 必着

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121062226&ln_jor=0

○東京都立大学の専任教員公募

(健康福祉学部放射線学科 准教授)

放射線科学分野(医用工学、放射線安全管理学、医用計測システム学分野)

応募資格:博士の学位を有する者、診療放射線技師または医学物理士の資格を有する者

2021年08月16日 必着

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121061976&ln_jor=0

○純真学園大学 放射線技術科学科 准教授または講師 1名(放射線計測学、放射化学、理工系分野)

2021年08月31日 必着(採用を決定次第、募集を締め切ります。)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121061236&ln_jor=0

○日本原燃株式会社 経験者採用情報

募集職種:多数 随時募集中

<https://www.jnfl.co.jp/recruit/mid-career/>

○日本原子力研究開発機構 博士研究員募集 15名程度

[研究募集テーマ]:<https://www.jaea.go.jp/saiyou/employment/974/>

2021年07月31日 必着

<https://www.jaea.go.jp/saiyou/employment/974/>

○量子科学技術研究開発機構 博士研究員の募集 2名

・量子生命・医学部門 ・核融合エネルギー部門

2021年08月02日 必着

<https://www.qst.go.jp/site/fixed-term/21025.html>

既発行の Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletter にて会員に有益な最新論文やイベント情報等の発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同コミュニケーション委員会 Newsletter 作成グループ

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp

.....